

## 第5回 海軍道路の桜並木に関する懇談会

日時：令和4年1月27日（木）16：00～18：00

場所：中屋敷地区センター

### 議 題

○開会

○議事

- 1 前回までの懇談会での主な意見
- 2 A, B 区間の整備イメージ（案）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 意見交換

○閉会

### ■配布資料

資料1：今までの懇談会での主な意見

資料2：A, B 区間の整備イメージ（案）について

資料3：今後のスケジュール

### ■第6回 海軍道路の桜並木に関する懇談会について（予定）

日時：令和4年3月上旬の開催を予定

後日、改めて出席依頼文を送付させていただきます。

なお、新型コロナウイルスの感染状況等により変更となる場合があります。

A,B区間の考え方(案)と、第4回懇談会での主な意見

横浜市からの提案

(1)桜は街路樹として適切なのか

道路構造令、道路緑化技術基準

高木を植栽する場合は、...樹種の成長特性等を理解の上、目標とする樹形、樹高を想定し、植栽する道路空間や維持管理水準に見合った樹種、植栽間隔

横浜市街路樹設置基準

植栽間隔:街路樹(並木)は、標準10.0m以上  
樹種の選定:同一路線は同一の樹種と様式で植栽する。

(2)農地への影響

枝、根の農地への越境

考えられる要因

- ・ (ソメイヨシノの)成長スピードが著しく早く、大径木であること
- ・ 成長の度合いに適していない植栽基盤

カラスの巣

考えられる要因

- ・ 人けのない場所
- ・ 大径木、高木であること

上記の留意点を考慮しつつ、A,B区間における桜並木を再生 + 具体的樹種の提案

位置図



主な意見

A、B区間は桜で良い

AB区間の桜はソメイヨシノにこだわらず、見栄えの良い桜であれば良いのではないかと。

AB区間は桜で良い。

コシノヒガンは賢明

街路樹に桜は適さないと考えている。市が桜にこだわらなければ、コシノヒガンを選ぶことは賢明だと思う。植樹して10年後を考えると、20年、30年後の大きさも見据えるべき。

ヨウコウが良い

ヨウコウは広卵型で横に広がらない。他は傘型で横に広がる。視界を遮らない落葉高木ということでヨウコウは適当。

AB区間は桜並木になると嬉しい。ソメイヨシノは非常に大きくなることや、管理について考えると、経済的にも手入れがしやすく、見ごたえもあるヨウコウなどが良い。農地や歩道への被害も少ないのではないかと。

ソメイヨシノでも良いのでは

農地があるAB区間は道路が広がるので、ソメイヨシノでも良いのではないかと。

桜にこだわる必要はない

桜にこだわる必要はないと考える。ただ街路樹はほしい。

鑑賞する側は成長が早い方が良い

成長スピードが遅いものを樹種の選定の基準としているが、これは管理する側の基準で、鑑賞する側からすると成長が早いほうが良い。

(仮称)旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業区域

C区間の考え方（案）と、第4回懇談会での主な意見

横浜市からの提案

C区間に関する、意見と課題	植栽間隔が狭く、枝が伸ばせない、視界が悪い	歩道への根上がり	落葉樹について	害虫の発生、被害	成長のスピード
	狭い植栽間隔	狭小な植栽基盤	清掃の負担 桜以外の樹種でも課題となる可能性があります	樹種特性での課題 (ソメイヨシノ)	樹種特性での課題 (ソメイヨシノ)
植替えでの留意事項	基準に則った適正な植栽間隔 (10mピッチ)	基準に則った植栽基盤 (大きさや客土)	樹種選定における留意事項 ・沿道住民の方々の負担をできる限り軽減 ・枝が広がりにくい	今後はソメイヨシノ以外の樹種で検討	
(1)落葉樹と、常緑樹	(2)桜並木の概要・沿革		(3)街路樹の機能(景観向上)	(4)これまでの懇談会での意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の道路緑化の状況を見ると、街路樹として多いのは「落葉樹」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和を祈念して昭和50年から57年頃に植樹</li> <li>平成29年度瀬谷区区民意識調査の瀬谷区を象徴するものに関する設問で「桜並木」が2位</li> <li>ソメイヨシノからヨウコウへの樹種転換中</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>道路緑化技術基準では、景観向上、環境保全の機能等が街路樹に求められており、環状4号線の桜並木の景観を維持・向上していくという視点も重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の桜への思い</li> <li>花博に向けての名所化</li> </ul>	

C区間の考え方（案）

海軍道路の桜を植え替えることで、新たな桜並木を創出する

主な意見

桜にはこだわらない  
ハナミズキで良いのではないか

海軍道路の環境を守る活動をしていた団体の代表も桜にこだわらない、樹種はなんでもいいが歩道を広くしてほしいとのことだった。C区間はハナミズキなどで良いのではないか。

花を愛でることもできる樹種としてハナミズキあたりが適当なのではないか。

近隣の意向を  
聞いて欲しい

近隣住民で決めることが重要。

地元のみなさんの気持ちも様々なので、もう少し丁寧に意見を聞いて欲しい。

地域住民の意見を丁寧に聴取する必要があり、アンケートも一つの案として考えてほしい。

西側歩道の幅員

西側の歩道の幅が狭いところに桜を植えると、近隣住民から苦情がくるのではないか。

片側（東側）だけなら植栽は可能だと思うが、両側に植えることは難しいと思う。

ヨウコウが良い

環状4号線との一体性を考えて、桜以外の樹種にするのではなく、ヨウコウを植えしてほしい。

ソメイヨシノの  
レガシー

ソメイヨシノのレガシーは、近隣住民が海軍道路の桜並木とともに生活してきたというレガシーでもある。子供や子々孫々に継承することが大事。

街路樹がもつ役割

花博が開催される6ヶ月間だけではなく、その後、何十年、何百年活用していきたい、多くの方をここにお迎えするという事を考えると、街路樹がもつ役割は重要。

C区間の今後の進め方については、現在、検討を行っています。  
具体的な進め方については、次回以降の懇談会にて説明させていただきます。

※第4回懇談会(12/20)資料 再掲

種名(品種名)	ヨウコウ	コシノヒガン	ジンダイアケボノ	※参考 ソメイヨシノ
事例写真	<p>植え替え前</p>  <p>植え替え後</p>  <p>横浜市 港南区 港南桜道</p>	<p>植え替え前</p>  <p>植え替え後</p>  <p>横浜市 泉区 いずみ野駅前通り</p>	<p>植え替え前</p>  <p>植え替え後</p>  <p>横浜市 金沢区 西柴の桜並木</p>	<p>※今回提示させていただいた3種と比較検討するための参考であり、ソメイヨシノは今後、検討する樹種ではありません。</p> 
タイプ	カンヒザクラ群栽培品種 アマギヨシノ×カンヒザクラ	エドヒガンとキンキマメザクラの交雑種 自生種 エドヒガン × キンキマメザクラ	エドヒガン群栽培品種	エドヒガン群栽培品種 エドヒガン×オオシマザクラ
開花時期、花の色	4月上旬 淡紅紫色／一重咲 ソメイヨシノより、濃いピンク	3月下旬 淡紅色／一重咲 ソメイヨシノに近い淡いピンク	4月上旬 淡紅紫色／一重咲 ソメイヨシノより、少し濃いピンク	3月下旬 微淡紅色～白色／一重咲 淡いピンク
樹高、樹形	落葉高木 広卵型  ソメイヨシノほど大きくなり、枝が広がりにくい	落葉高木 傘型  ソメイヨシノほど大きくなり、枝が広がりにくい	落葉高木 傘型  ソメイヨシノよりやや小ぶり、枝が広がりやすい	落葉高木 傘型  枝が広がりやすい
病害虫	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い (抵抗力がある)	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い (抵抗力がある)	ソメイヨシノに比べて、病害虫に強い (抵抗力がある)	てんぐ巢病にかかりやすい
成長スピード	ソメイヨシノより成長が遅い 約10年で6～7m※	ソメイヨシノより成長が遅い 約10年で6～7m※	ソメイヨシノと同程度 約10年で7～8m※	成長が早い 約10年で7～8m※
結論	△ 花の色が適していない (今までの懇談会での意見)	○ 病害虫に強い 現在の桜並木の趣(開花時期、色) ソメイヨシノより成長スピードが遅い	△ 成長スピードがソメイヨシノに近い	—

※成長スピードは、気象条件や植栽基盤の状況により大きく変化するため、あくまで参考値です。

## B区間の整備イメージ（案）について

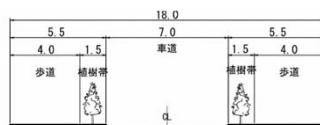
- 本日懇談会では、第4回懇談会にてご意見を頂いた、ヨウコウとコシヒガン案の模型を作成しました。

	ヨウコウ(総幅員31.0m)	コシヒガン(総幅員31.0m)	※現況 ソメイヨシノ(総幅員18.0m)
模型 写真	 <p>模型 鳥瞰</p>	 <p>模型 鳥瞰</p>	 <p>模型 鳥瞰</p>
	 <p>模型 アイレベル</p>	 <p>模型 アイレベル</p>	 <p>模型 アイレベル</p>

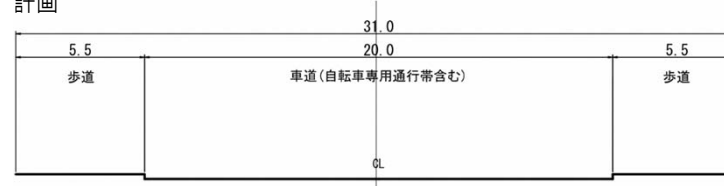
### B区間

- B区間は、総幅員31.0mとし、現況の道路中心線から両側へのセンター拡幅する計画としています。歩道幅員は5.5mで計画しています。

現況



計画

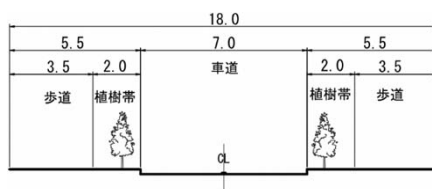


A区間の整備イメージ（案）について

	ヨウコウ	コシヒガン	※現況 ソメイヨシノ
模型 写真	 <p>模型 鳥瞰</p>	 <p>模型 鳥瞰</p>	 <p>模型 鳥瞰</p>
	 <p>模型 アイレベル</p>	 <p>模型 アイレベル</p>	 <p>模型 アイレベル</p>

A区間

- A区間は、総幅員18.0mを変更しない計画です。



※第3回懇談会(11/12)資料をベースに、「赤色文字」部分を見直し・検討中

	2021年度 (R3)						2022年度～2026年度 (R4) (R8)		2027年度 (R9)
	1 海軍道路の桜並木に関する懇談会	第1回懇談会 7/30	第2回懇談会 (現地説明会) 10/26	第3回懇談会 11/12	第4回懇談会 12/20	第5回懇談会 1/27	第6回懇談会 (3月)	第7回懇談会 (〇月)	令和4年度以降
懇談会の目的 桜並木の現状・課題 桜並木に関する方向性(案)の提示 今後のスケジュール		桜並木の現状・問題点等を現地にて説明	第1回懇談会、現地説明会での主な意見 今後のスケジュールと進め方(案)の提示	第3回懇談会での主な意見 A,B区間の樹種(案)の提示 C区間の考え方(案)の提示	第4回懇談会での主な意見 A,B区間の整備イメージ(案)の提示 <del>C区間の樹種(案)の提示</del>	第5回懇談会での主な意見 A,B区間の整備イメージ(修正案)の提示 <del>C区間の整備イメージ(案)の提示</del>	第6回懇談会での主な意見 <del>C区間の整備イメージ(修正案)の提示</del>	「桜並木再生等の整備方針」の策定	記憶の保全事業 整備計画の詳細な検討等
<p>第1回から第3回までのご意見を踏まえたうえで案を提示</p> <p>○樹種 ・管理面 ・大型化しない樹種 ・海軍道路の桜への思い ・C区間の樹種 ・ヨウコウの花の色など</p>						<p>各回で頂いたご意見を踏まえたうえで案を提示</p> <p>○樹種 ・管理面 ・大型化しない樹種 など</p> <p>○留意事項 ・植栽間隔が狭い・農地への関係 ・植栽による視界不良、接触 ・害虫等との関係、台風等による倒木 ・海軍道路の桜への思い ・既存の桜の伐採は仕方がない など</p>			「既存の桜の活用」等のご意見を踏まえたうえでの検討を予定
2 国際園芸博览会	博覧会の開催検討						会場計画設計等	施設整備	国際園芸博览会の開催 令和9年3月から9月
								イベント	
3 (仮称)旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業(環状4号拡幅整備含む)	法手続き・事業計画・設計等						工事		工事

C区間の進め方は、前回までの懇談会での意見を踏まえて見直し・検討中です。